

# 令和8年度 心の教育推進プラン（案）

諫早市立御館山小学校

教育目標の基盤
日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領 県・市教育方針等

学校の教育目標		
心豊かに、たくましく生きる児童の育成  笑顔あふれる「み」「た」「ち」「や」「ま」		
やさしい子（真心） にこにこ ○相手を思いやる行動ができる子 ○進んであいさつができる子 ○場に応じた行動ができる子	まなぶ子（知恵） こつこつ ○自ら進んで学びに向かえる子 ○基礎的な知識及び技能を習得できる子 ○思考力・判断力・表現力を身につけることができる子	がんばる子（やる気） わくわく ○目標に向かって挑戦する子 ○「何ができるか」を考え行動する子 ○がまん強く集中できる子 ○進んで体を鍛えることができる子

児童の実態
保護者の願い 学校・地域の特性 時代・社会の要請 教師の願い

人権教育との関連
一人一人のよき人間としての尊厳を知り、いじめや差別をなくしていくこととする意欲や実践力を育てるとともに、進んで望ましい人間関係や作ろうとする心情・態度を育てる。

道徳教育の目標
自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。

生活指導との関連
望ましい生活習慣を育てる。 規則正しい生活ができるようにする。 相手の立場を思いやる子供を育てる。

## 各教科との関連

国語	国語による表現力と理解力を育成するとともに、人間と人間の関係の中で、互いの立場や考えを尊重しながら言葉で伝え合う力を高める。
社会	我が国の国土と歴史に対する愛情を育て、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛し、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者としての自覚を持たせる。
算数	物事を筋道立てて考え進んで生活や学習に生かそうとする心情を養う。
理科	自然に親しみ生命を尊重したり探究したりしようとする態度を育てる。
生活	具体的な活動や体験を行い自分たちの生活について考えようとする態度を育てる。
音楽	美的情操を養い、崇高なものを尊ぶ態度を育てる。
図工	身の回りに対する美的感覚を養い、創意工夫する態度を育てる。
家庭	家庭生活についての理解を深め家庭生活をよりよくしようとする態度を育てる。
体育	健康安全への関心を高め、協力しながら忍耐強く運動を続ける実践的態度を育てる。

学校における道徳教育の重点目標		
あいさつなどの基本的な生活習慣を身に付け、善悪を判断し、他を思いやる心を育てる。	自ら考え、共に学び、互いに認め合うことのできる子供を育てる。	集団や社会のきまりを守り、命を大切にすることのできる子供を育てる。

## 特別活動との関連

学級活動	学級や学校の生活の充実と向上を図り、健全な生活態度の育成に資する活動を通して、希望や目標を持って生きる態度を育てる。
児童会活動	児童会において、学校生活の充実と向上のための諸問題を話し合い、協力して解決を図ろうとする自発的、自治的な活動を行う態度を育てる。
クラブ活動	共通の興味・関心を追求する活動を通して、自主性や社会性の育成あるいは、個性の伸長を図る。
学校行事	体験的な活動を通して、自立態度、学習意欲、心身の健康、協力、責任、公德心、勤労、社会奉仕などの道徳性の育成を図る。

**道徳科の目標**：よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

各学年の重点目標	一年	A(3) 節度、節制 健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活すること	B(9) 友情、信頼 友達と仲よくし、助け合うこと	D(17) 生命の尊さ 生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること
	二年	A(2) 正直、誠実 うそをついたり、ごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活すること	B(6) 親切、思いやり 身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること	C(10) 規則の尊重 約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること
	三年	B(9) 友情、信頼 友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと	C(10) 規則の尊重 約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること	D(18) 生命の尊さ 生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること
	四年	B(6) 親切、思いやり 相手のことを思いやり、進んで親切にすること	C(10) 規則の尊重 約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること	D(18) 生命の尊さ 生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること
	五年	B(7) 親切、思いやり 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること	C(16) よりよい学校生活 先生や学校の人々を敬愛し、みんなが協力し合っよりよい学級や学校をつくること	D(19) 生命の尊さ 生命が多くつなぐの命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること
	六年	B(7) 親切、思いやり 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること	C(12) 規則の尊重 法やきまりの意義を理解し、進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと	C(16) よりよい学校生活 先生や学校の人々を敬愛し、みんなが協力し合っよりよい学級や学校をつくること

教育課程外の道徳教育
仲間とのふれあいを通じて互いに理解し合い、思いやり、いたわり合うことによって連帯感を育て、よりよい生き方をしようとする態度を育てる。

外国語活動との関連
外国語を通して言語や文化について体験的に理解を深め、日本人としての自覚をもって世界の人々との親善に努める。

特色ある教育活動や豊かな体験活動
○特別支援学校との交流 ○町探検、社会科見学、長崎街道を歩く ○縦割り活動 ○栽培活動 ○ボランティア活動 ○なかよし委員会の取組 等

家庭・地域社会との連携
家庭や地域との共通理解を深め、連携して道徳実践の拡充深化を図り、児童の道徳性の向上に努める。さらに、郷土や学校に対する愛情を育てるとともに、地域の教育力の向上を図る。

総合的な学習の時間との関連
学び方やものの考え方を身に付け、探究活動に主体的に取り組み、自己の生き方考える態度を養う。

## 道徳的实践

環境整備の重点
心情を豊かにし、生活態度を見直す環境作りをすることにより、児童の道徳的実践を促す。 (発達段階に応じた教室環境) (校舎内外の環境整備) (望ましい人間関係) (言語環境の充実)

いじめの防止
○児童理解のための共通理解会議(毎週火曜) ○いじめ実態報告(毎月末)

道徳推進教師による推進計画
○道徳授業の改善・充実 ○道徳カリキュラム・別業の活用推進 ○道徳の校内研修